

サーサナ

第40号 仏暦2560 (西暦2017) 年11月20日

一番大切な人

この話は、釈尊が祇園精舎（サヘート）におられたことです。

祇園精舎というのは、インドのコーサラ国につくられた修行道場です。当時、コーサラ国を治めていたのはパセーナディという王で、夫人のマッリカー王妃は仏教に深く帰依していました。

ある日のこと、パセーナディ王はマッリカー妃と一緒に宮殿のテラスから景色を楽しんでいました。ロマンチックな気分になった王は夫人に尋ねました。

「マッリカー、そなたにとって一番大切なのは誰だ？」

「もちろん、私自身に決まっていますわ。」

「なんと！そなたにとって、夫であるこの私よりも自分の方が大切だと申すのか！けしからぬ奴だ。」

「あなた、落ち着いてください。それではお尋ねしますが、あなたにとってもあなたご自身が一番大切なではありませんか？」

「・・・」

パセーナディ王は（いや、ワシは国王だし夫だしな。妻が夫を自分より大切に思うのは当然じゃないか）と内心思いましたが、普段から何かにつけて妃の方がいちまい上手なので、何も言い返すことができませんでした。

しかしどうしても納得できない王は、次の日、祇園精舎に出かけ、釈尊に面会を申し出ました。

釈尊は王から事情を聞くと、深くうなづかれました。

「なるほど。お妃はよくわかってらっしゃいます。自分をごまかすのはおやめなさい。王様、あなたにとっても、自分自身よりもっと愛しいと思う者はいないでしょう？誰にとってもそうなのです。だからこそ、自分を愛しく大切に思うならば、決して他の人を害してはなりません。自分を大切になさい。そうしてお妃を、そして国の人々、生きとし生けるものすべてを大切になさい。」

これより後、国王夫妻は仲よく暮らしました。

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。肩衣とは浄土真宗の仏事における正装で、本山また当寺でも授与することができます

十二月 成道会（じょうどうえ）

約2500年前、北インドでお釈迦様がさとりを開かれ仏陀となりました。12月8日、35歳のときであったと伝えられています。お釈迦様のさとりから仏教は始まりました。私たち仏教徒にとって最も神聖な記念日です。

- ❖ 日 時 12月8日（金）午前10時～11時半【午前9時半から受付】
- ❖ 内 容 勤行 和文仏教聖典読誦・正信偈同朋奉讃
ビデオ上映『仏陀誕生・仏陀成道』
（聖地を紹介しながら、お釈迦様の生涯をたどります）
- ❖ 持ち物 『和文仏教聖典』『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）
- ❖ 記念品 朱蠟

十二月 門徒総会・忘年会

上記成道会に引き続き、門徒総会を開催します。この一年間の活動報告及び今後の活動計画についての話し合いをします。皆さまのご意見をお聞かせ下さい。終了後、お斎（忘年会）があります。出席される方は、12月5日までにご連絡下さい。ビンゴゲームがあります（ゲームの賞品になるもの[未使用品]をご提供いただくとありがたいです）。

- ❖ 総 会 11時半～12時
- ❖ お 斎 12時～
（今年は「葛茂」の会席弁当です）

右写真は祇園精舎（サヘート）の跡地。

平家物語冒頭の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」は有名ですが、実際には鐘は存在しませんでした。



一月 修正会（しゅしょうえ）

修正会とは、新年を祝い、また求道の決意を新たにするための法要です。家族揃って、初詣を兼ねて本堂にご参拝ください。

- ❖日 時 1月1日（月）午前10時～11時【午前9時半から受付】
- ❖内 容 勤行（嘆仏偈・和訳正信偈）、年頭法話
- ❖持ち物 『和訳正信偈』『真宗大谷派勤行集』
- ❖記念品 鏡餅（お子さんには菓子袋）
- ❖ぜんざいの接待があります。

二月 涅槃会（ねはんえ）

兼 年間物故者追弔会

涅槃会とは、釈尊の入滅（入涅槃＝完全なる安らぎである死を迎えられたこと）を記念する法要です。本法要にあわせて、2017年の間に亡くなられた当寺御門徒を追弔いたします。

- ❖日 時 2月14日（水）午後2時～4時【午後1時半より受付】
- ❖内 容 年間物故者追弔のことは
勤行（和文仏教聖典読誦、正信偈同朋奉讃）
法話「往生とはどういうことか」（住職）
- ❖持ち物 『和文仏教聖典』、『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）
- ❖記念施本 『ご法事を縁として』（東本願寺）

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことを願いたします。

3月26日	榊原様[天白区平針]	10万円
5月15日	馬場様[天白区久方]	20万円
9月10日	近末様[南区]	50万円

ユニセフ募金

9月8日、皆様からお預かりした浄財18,608円を公益財団法人・日本ユニセフ協会へ振り込みました。累計では252,179円になりました。ありがとうございました。

年忌法要

来年（2018年、平成30年）は没年が下記に相当する方の年忌になります。

1 周忌	2017年（平成29年）	< 2 7 回忌 >	1992年（平成4年）
3 回忌	2016年（平成28年）	3 3 回忌	1986年（昭和61年）
7 回忌	2012年（平成24年）	< 3 7 回忌 >	1982年（昭和57年）
1 3 回忌	2006年（平成18年）	5 0 回忌	1969年（昭和44年）
1 7 回忌	2002年（平成14年）	< 7 0 回忌 >	1949年（昭和24年）
< 2 3 回忌 >	1996年（平成8年）	1 0 0 回忌	1919年（大正8年）
2 5 回忌	1994年（平成6年）		

大谷派儀式条例に定める年忌は、1・3・7・13・17・25・33・50・100、およびそれ以後100年毎、となります。しかし地域によっては < > 内やそれ以外の年忌法要を勤める場合があります。

❖ 御自宅で開催の場合、駐車場の確保をお願いします。

僧侶が袈裟衣を着替えるためのスペースを用意して下さい。

勤行本（正信偈同朋奉讃）を人数分用意してください。足りない場合は当寺に必要部数をお伝え下さい。

開催の前日までに、仏具のおみがき、お内仏の清掃をしましょう。

❖ 教心寺本堂で開催の場合、使用料として1万円をお願いしています。

会費の納入について

会費の期限切れの方は、更新をお願いします。1年で1000円ですが、事務軽減のため、複数年を納入していただけるとたすかります。

郵便振替00880-4-68473「教心寺」、または現金手渡しで。

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弑（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 FAX：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>
